

山形・天童 鷹匠の松原さん、狩りの様子を実演

獲物仕留める速さに驚き

山形県天童市の鷹匠松原英俊さん(75)は、宮城県松島町の松島中3年長倉茅代さんと松島五小5年飯嶋榮人さんのことも記者2人に、自宅近くの山で狩りの様子を実演してみせてくれました。

(1面に関連記事)
ニシオオノスリの愛称

「ポーちゃん」を木の枝に止まらせます。離れた場所に移動し「ホー、ホー、ハイ」と呼ぶと、ポーちゃんは松原さん目掛けて飛び、分厚い革手袋をした左腕に止まりました。

原さんの左腕から飛び立ったポーちゃんは高速で飛びかかり、一瞬で仕留めました。固唾をのんで見守っていたことも記者は、その速さに驚いていました。

力は鷹匠にも飛びかかってくる。4センチあるツメでがっちり捕まえられたら大けがでは済みません」と松原さんは言います。ポーちゃんは、大きな羽を広げて仕留めたウコッケイを隠しながら、ついばんでいました。



鷹匠の松原さんとニシオオノスリのポーちゃん

取材を終えて

好きを追求し挑戦を

松島中3年
長倉茅代さん

タカはもちろん、自分の好きなことを貫いてきた松原さんの生き方が、何より格好良かったです。松原さんの言葉からは、タカへの愛情が伝わってきました。

私はまだ進む道を決め切れていません。夢中になれることを見つけない。できない理由を探すのではなく、いろいろな事に挑戦し、自分の好きを追求していきたいと、強く思いました。

タカと共に歩みたい

松島第五小5年
飯嶋榮人さん

松原さんは、とにかくタカと生きたいという情熱を持っていました。僕もタカが好きです。でも松原さんのような情熱があるか考えたとき、まだ足りない気がしました。もっとタカのこと、鷹匠のことを知ることが大事だと思いました。

鷹狩りの季節は冬です。厳しい寒さの中でもタカと共に歩んでみたい。いつか立派な鷹匠になりたいです。